

夏季特別神戸15会“新庄村編”

恒例の六甲アメフト夏季合宿応援 岡山県北辺“新庄村ツアー”へ今年初めて参加して来ました。今年は藤田ツアー幹事長発起によるゴルフ会も企画され Varietyに富んだ内容と最多の参加者となって盛り上がった。

小生も猛暑の時節と歳のせいか体力的に疲れたが 孫みたいな生徒のPowerと爽やかな高原の緑香おる風 のどかな村風景と人情豊かな村人に触れ 爽やかな疲れをもって二泊三日の旅から帰って来ました。

田嶋輩がバチバチ写真を取りまくっていたので やがて整理してh pに掲載されるものと思いますので 小生は活字での報告をしておきます。

参加者は団長の梅村 副団長（実態は何せえ、これせいと団長から云われる役）梅地、広報 田嶋（都合により元同窓会長として挨拶せいと団長から云われていたが一）

輸送班の中山（力仕事も彼に回る）野次馬まぜ返しの初参加 小田 藤田幹事長からゴルフやるから参加せいと云われての太田（但し肝心の藤田幹事長がドタキャン！）

5年皆勤参加の武田は不自由となった足腰を労わりながらの参加 いつもの宴会盛り上げ演奏係の鈴木肇ウクレレかかえて大活躍 今年二回目の紅一点 白川令夫人 さらに10日のゴルフのみ参加 久保田 国重組は当日車で自宅⇄真庭で優勝をさらう。

前夜深酒の太田 小田両輩は“調子が出なかった組”。

初日9日は梅村団長推薦の飯屋に昼食兼ねて集合 彼は小学校3年まで新庄村に居た時代の同級生で“当時のマドンナ”経営するというより やっておる飯屋でホルモン焼きうどん+ビール。その後徒歩数分の村役場に村長を表敬訪問 我々の到着に合わせて出先より軽トラックで戻って来た村長というより尊重の方が似合うお方 気さくさが服着た感じ。人口千人であるが岡山県内一の財政健全村とのことで村起こし策を常に考えておりますとのこと。

学生は畑原監督に佐藤コーチのもと中学1年～高校2年まで部員58名 さらに今年はOB大学現役数名が二組の夫婦も入れて参加 15期大久保医の甥で京大アメフト部員もコーチとして特別参加 まっ黒けで大久保の倍ほどの体を駆使してコーチしていた。

当夜は学生の泊る村営宿舍横庭でバーベキューによる村の歓迎会。生徒達も炭起こし椅子机運び 力男の中山も活躍したが蜂に刺され手をふくりますオマケがあった。

OB連はビールにWine 村長差し入れの地元酒をグイグイ 誰云うことなしに二次会でまたまた昼食場のマドンナの店へなだれ込み団長 大喜びではしゃぎ廻った末 我々15期の宿 村営、山の家へ10時前着 そこでまたまた15期同士乾杯とワイガヤ 酔っぱらって梯子段を踏み外すのもありの後 各部屋では雷イビキの響きわたりとなって静かな奥山の夜はふけた。

翌朝は蒜山高原から流れて来る山の冷氣と朝もやのうちに明ける。聞こえるのは小鳥の鳴き声と横を流れるセセラギの水音 二日酔いの頭がみるみる清浄化されて行く感。

ゴルフ組の4名は早々に出立 残る梅地 鈴木 と小生の3人は村に戻りスケッチ
梅地は昨年参加した石井輩の発案による風景画を描いて村役場へ寄付しようと言う
呼びかけのほぼ犠牲となって暑い日中 麦わら帽子をかぶって創作活動（労働？）
発起人の石井は所用発生での直前不参加（ドタキャンではないが一）、今年は
ゴルフともに発起人兩名不参加で当事者達ブツブツ。横でスケッチ片手の小生
“これも人生の一面 15期ならでは不義理も享受される”とブツブツ。
くたびれ入った村でも少ない喫茶店でアイスコーヒを飲む 入って来た村人が
“ヒヤくれ！” 飲みながらすでに村中に我々のウワサが流れスケッチしておった
夜遅くまでマドンナの店で飲んでおった等の一挙一投足まで話が出ておった。
まるでジョン万次郎か咸臨丸一行になったようなもの 昔の陣屋のある町並の
街道でスケッチしていたところ近くのオバアさんが近ずいて来て とうとうと
歴史を語ってくれるが目の前の歴史掲示板に書いてある内容そのものであった。
村人の人情に触れた想いであった。松江藩の松平侯が参勤交代時ここを通過して
いたとまるで当時のごとく話すがオバアちゃん 背が低いのでかがんで耳を傾け
ているうちに腰が痛くなって来るのには閉口した。
村役場前に到着し描こうと場所を選んでいるところへ村長が役場より出て来て
“一休みする時コーヒでも飲みに来てください”と声かけてくれたのも こういう
所ではのことである 兎に角ノンビリ ユツタリと静かに時が流れるところである。
当夜最後の夜は恒例の我々招待の宴会といことで村長をはじめ教育長
元岡山県警新庄村駐在署員夫妻に毎回世話をしてくれる地元土木屋社長に六甲
コーチ陣も招待され大盛り上がり 囲炉裏バタで土木屋社長差し入れの“イノシシ”
肉に教育長（釣り名人と云われ石井も脱帽の主）が横の清流からヒョイひょいと
釣って来たアマゴ ヤマメ 前もって釣っておった天然鮎の塩焼。どちらが客か
分からんかたち。酒も地元酒類が持参され我々が提供したのはビール大瓶20本と
少々のアテ物程度。普段イノブタのみで自然のイノシシ肉は初めてでちょっと
火にあぶり塩をかけて食すがこれが絶品であった。イノシシは臭いと云う観念は
一遍に吹き飛んだ。提供者の社長にそれを伝えると得意になって説明してくれた。
冬場に狩をし 仕留めたのを土に埋めておくと臭みがとれるとのこと。駐在所夫妻の
余興 メイチヤンのウクレレ伴奏によるカラオケもあつて遅くまで賑わい 客人
退出後またまた15期同士飲んでのワイガヤ 勿論この夜も階段を踏み外し御仁が
出たことである。
今年は 伊藤 石井の両輩は参加できなかったが まだ参加していない輩も是非参加を
勧めたい場所 雰囲気の会である。清水 徳廣両輩も今年中日帰りで行きたいとのこと。
人間を取り戻す時間を過ごした感じに今もある 梅村団長の御苦勞に多謝 多謝を
もって終わることとします。